

(別紙様式)

1人1台端末の活用による実践事例

学校名	岡山県立和気閑谷高等学校		
実践者等	柴谷 祐人	実践日	令和3年11月25日
実践場面 (教科・科目、学校行事等)	商業・会計特講		
対象生徒(学年等)	3年生 キャリア探求科		
単元名 (教科・科目の場合のみ)	財務諸表分析 発展学習		
使用したアプリ等	ドキュメント・スプレッドシート・Forms・classroom		
実践の概要(ねらい等)	海外の財務諸表(英語版)を解読し、今までの学習と結び付けることができる。		

実践の内容

(1) 今までの学習の振り返り

- ・今まで学習してきた内容をスライドで振り返る。

(2) Google ドキュメントへの記入

- ・示された英語版財務諸表の勘定科目が、日本語版の勘定科目でいうところの何に当てはまるのか各自で考え、グループで相談しながら空欄に当てはめていく。
- ・英語科教員が直訳するとどのような意味の英単語なのかヒントを出す。



(3) Google スプレッドシートで応用学習

- ・各自に配付されたスプレッドシートの問題を解く。
- ・先ほどの学習で学んだ英語版勘定科目を訳しながら、今までの学習の知識と結び付け、流動資産合計、固定資産合計、無形固定資産合計、流動負債合計、繰越利益剰余金を計算していく。

balance sheet			
A Co., Ltd	March 31, 2021		(unit: yen)
Assets		Liabilities - Net assets	
Cash and deposits	1,754,000	Notes payable-trade	740,000
Notes receivable-trade	700,000	Accounts payable-trade	640,000
Accounts receivable-trade	1,440,000	Short-term loans payable	1,320,000
Securities	2,106,000	Income taxes payable	300,000
Merchandise	1,170,000	Long-term loans payable	2,366,000
Prepaid expenses	30,000	Provision for retirement benefits	634,000
Buildings	2,200,000	Capital stock	7,600,000
Fixtures	2,520,000	Retained earnings brought forward	?
Land	5,630,000		
Patent right	450,000		
	?		?
① Total Current assets ?	⇒		流動資産合計
② Total Non-current assets ?	⇒		固定資産合計
③ Total intangible assets ?	⇒		無形固定資産合計
④ Total Liabilities ?	⇒		負債合計

(4) 本時のまとめを実施

- ・言語は違っても、日本と同一の意味を持つ勘定科目があり、同じ分類で計算をすることができることを確認する。
- ・最後に本時の自己評価、振り返りを Google Form を利用し、生徒自身が行い提出する。

参考となる HP 等

実践の様子が分かる写真等を適宜入れてください。(肖像権の確認等は各校で行った上で提出してください。)